

## 施策評価調査【令和7年度実施事業】

政策名	7 地域が輝くまちの創生	関係課名	地域振興課（コミュニティ創生課、文化芸術交流課、観光課、農林水産部）
施策名	1 人が集い、元気が生まれ広がる、新たなまちへ～佐伯地域～		
総合計画頁	P98～99		

## 【1-1 主な取組】

主な取組	ア	イ	ウ	エ
	新たなまちの姿を描く「街」エリアの形成	地域資源をいかし次世代につなげる「里・浦」エリアの形成	「街」「里」「浦」エリアにおける歴史・文化の活用と空き家、空き店舗等の利用促進	人が集い、安全で安心して暮らせるための新たなコミュニティ組織づくり

## 【1-2 主な取組の実施状況】

主な取組	R7年度に実施した具体的な取組内容と成果	R8年度に実施予定の具体的な取組内容
ア	<p>(ア) 人が集う、さいき城山桜ホール周辺を中心とした各種イベントに対する支援や、市民団体との協働 佐伯創生推進総合対策事業の地域が輝くにぎわい創出事業において、「さいきキラキラ夜市」等の支援を行った。さいきキラキラ夜市では約2万人の来場があり、さいき城山桜ホール周辺への波及効果も見られた。</p> <p>(イ) 人の流れをつくる城山の利活用と城下町観光交流館等との連携 城山については、雑木等の伐採作業を行うことで景観整備に努めた。また、国指定史跡佐伯城跡の保存と活用の基本方針となる史跡佐伯城跡保存活用計画を策定し、活用の方向性の一つに周辺施設連携を掲げた。 また、城下町観光交流館を起点として、書道体験や陶芸体験、絵付け体験、パルアクセサリー製作体験等の体験会や販売会を実施した。また、城下町の新たな価値を創出するため、インスタントカメラを活用したフォトツアーを実施し、参加者が撮影した写真を写真展として展示を行った。</p> <p>(ウ) 自転車や徒歩などそれぞれのスタイルに合わせた観光周遊ルートの利用 サイクリングコースとなっている大入島コースにおいて、島内を一周するさいき大入島SAKURAサイクリングが開催され、その中で島内の昼食を提供するなど自転車を活用した観光客の誘致が図られた。</p> <p>(エ) 葛港周辺を中心とした人が集うイベントに対する支援や市民団体との協働及び景観整備 葛港にて、令和7年度より新たに地域おこし協力隊の隊員が毎月第4土曜日に「トロバコ朝市を開催し、周辺のにぎわい創出を図った。</p> <p>(オ) 仲町、うまいもん通りのにぎわいを創出する取組への支援 佐伯創生推進総合対策事業の地域が輝くにぎわい創出事業において、「うまいもん通りにぎわい創出事業」の支援を行った。当事業の秋祭りでは多数の来場があり、うまいもん通りのにぎわいが創出された。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1 R7年度と同事業を行う <input type="checkbox"/> 2 新規事業を行う <input type="checkbox"/> 3 改善を行う <input type="checkbox"/> 4 その他 ※上記で1以外を選択した場合は、その内容を簡潔に記入
イ	<p>(ア) 「里」の自然、元越山、彦岳等を活用した地域づくりの推進 元越山では、元越山に登る会が開催された。また、下山後には、木立地域コミュニティセンターにてぜんざいや豚汁がふるまわれた。</p> <p>(イ) 「浦」の自然、大入島等をいかしたアウトドアの推進と景観整備 大入島地域では、島内での大入島シーサイドマラソンを開催し、島内外から多くの参加者があり、地域内外の交流促進を行った。また、花のある島づくりの取組として、花の植え替え等を実施し、景観整備を行った。</p> <p>(ウ) 地域の産品を活用した地域づくりの推進及び拠点づくり 木立地域にて、新たな特産品の開発として、さいみそを活用した特産品開発を始めた。また、青山地域では、青山地域コミュニティセンターにて収穫祭が開催され、地域の農産物の直売やステージ発表があり、多くの来場者で賑わった。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1 R7年度と同事業を行う <input type="checkbox"/> 2 新規事業を行う <input type="checkbox"/> 3 改善を行う <input type="checkbox"/> 4 その他 ※上記で1以外を選択した場合は、その内容を簡潔に記入
ウ	<p>(ア) 地域の歴史・文化を活用した情報発信とその保存、継承に対する支援 八幡五丁の市実行委員会による「八幡五丁の市」ではジョーヤラ船の巡回やステージイベント等により、伝統文化の保存・継承を行う事業に支援を行った。 また、鶴岡地域では、地区の伝統的な行事である鶴岡地区盆踊りの開催による鶴岡音頭の踊りの文化継承に対して支援を行った。</p> <p>(イ) 新たな空き家、空き店舗の情報共有と掘起こし及び既存施設の再利用するための活動 佐伯市空き家バンク事業や、佐伯市空き家利活用促進事業により、空き物件の掘起こしや、購入の斡旋及び購入する物件の家財処分や、空き家の購入、空き家の改修に係る費用について支援を行った。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1 R7年度と同事業を行う <input type="checkbox"/> 2 新規事業を行う <input type="checkbox"/> 3 改善を行う <input type="checkbox"/> 4 その他 ※上記で1以外を選択した場合は、その内容を簡潔に記入

エ	<p>(ア) 子育て環境の充実と防災面を意識した地域づくり 渡町台地域にて、「とまち まあるい ちいきの楽校」として、地域内のこどもを対象として、野外活動やものづくり体験、夏休み中のこどもの居場所としてコミュニティセンターを活用した遊びの日を実施した。</p> <p>木立地域では、防犯、防災への取組として防災士が行う心臓マッサージなどの講習会を実施した。また渡町台地域では、防災の意識醸成として、大分地方気象台職員を講師に招き南海トラフ地震に備えるための講演会を実施した。</p> <p>(イ) 公民館・コミュニティセンターを活用した地域活動に対する支援 下堅田地域にて、龍王山ガーデンパーティーや龍王山マルシェ、龍王山シネマ等により、ステージ発表や地元野菜、手芸作品の販売、映画上映等をコミュニティセンターで実施し、地域内の多世代交流や地域内交流を図った。</p> <p>(ウ) 地域内での交流イベントの推進と次世代の地域リーダーの育成 西上浦地域にて、ふれあい部会によるイベントの開催による地域内の交流促進を図った。またイベント開催時には、若者部会による販売ブースの設置を行うなど、次世代を担う人々が地域の活動に対して参画し、地域の活性化に取り組んだ。</p> <p>(エ) 子どもに対する地域教育、世代間交流の推進 下堅田地域にて、あそびの広場としてコミュニティセンターで凧・しめ縄作りやダンス会を開催し、地域内でのこどもたちが楽しく安全に過ごすための活動を実施した。</p> <p>(オ) 団体同士が連携した地域づくりの推進 佐伯市地域コミュニティ推進指針に基づく新たな地域コミュニティ組織の設立に向けた取組が行われており、令和7年度は、新たに上堅田地域と八幡地域の2地域に地域コミュニティ協議会が設立された。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1 R7年度と同事業を行う <input type="checkbox"/> 2 新規事業を行う <input type="checkbox"/> 3 改善を行う <input type="checkbox"/> 4 その他 ※上記で1以外を選択した場合は、その内容を簡潔に記入
---	--	---

【1-3 主な取組（R7年度実施）による評価】

評価		評価理由	平均評価
ア	A	さいき城山桜ホールや葛港周辺、うまいもん通り等を中心とした各種イベントが開催され、地域のにぎわいや活性化を図ることができた。また、城山や城下町観光交流館等についてもイベントやツアーの実施により、人の流れもできてきている。	A
イ	A	コミュニティ協議会等が中心となり、他世代間交流の促進や、地域資源を活かした取組がそれぞれの地域で展開されている。また、登山会やオルレ等地域資源を活用したイベントも開催されている。	
ウ	A	地域の伝統文化・行事に対する支援を行うことで、その保存・継承に努めることができた。空き家対策については、各種補助事業を活用し、移住者による空き家バンクの購入、老朽危険空き家の解体、空き家を改修して店舗経営、空き店舗を活用して創業する方が増加傾向にあることから取組は順調に推移している。	
エ	A	子育て環境を充実させる取組が行われ、また、地域活動に対する支援を行うことで、それぞれの特色に沿った地域づくりが行えた。また、佐伯市地域コミュニティ推進指針に基づく新たな地域コミュニティ組織の設立に向けた取組は、順調に推移している。	

【2-1 目標指標】

目標内容		基準値・年度		実績値【R7年度】	目標値(令和7年度)	目標値(令和9年度)
(1)	新たな空き家等の掘起こし件数	6件/年	R4	31件/年	7件/年	8件/年
(2)	空き家等の利活用件数	25件/年	R4	32件/年	26件/年	28件/年
(3)	「街・里・浦」エリアの地域活性化につながる取組及び支援件数	11件/年	R4	13件/年	13件/年	15件/年

【2-2 目標指標による評価】

評価		評価理由	平均評価
(1)	A	空き家の有効活用を通して、定住の促進による地域の活性化を図るため実施する佐伯市空き家バンク事業における旧佐伯市内の新規登録物件数（掘り起こし）は、目標を達成できた。	A
(2)	A	空き家等の利活用件数については、空き家バンク事業の登録物件を移住者が成約した件数16件、老朽危険空き家を解体した件数14件、空き店舗を活用した件数2件の合計32件で、目標を達成できた。	
(3)	A	「街・里・浦」エリアの地域活性化に取り組む市民活動を支援することを目的とした佐伯創生推進総合対策事業の実施件数は、目標を達成できた。	

【3-1 重点プロジェクト】 ※各振興局所管の地域活性化分野のみ

重点プロジェクト名	
①	げんき、ひろがる！佐伯プロジェクト

【3-2 重点プロジェクトの具体的な実施状況評価】 ※各振興局所管の地域活性化分野のみ

	R7年度に実施した具体的な取組内容と成果	R8年度に実施予定の具体的な取組内容
①	<p>市内中心部では、さいき城山桜ホールやその周辺を利用したイベント等が行われたことにより、市内外から多くの人々が訪れ、にぎわいを創出することができた。周辺部では、各地域の資源を活かしたイベントや特産品の生産体制の強化、景観整備等の取組への支援を行った。また、城下町エリアでの観光ツアーの実施等、人の流れを作る環境も整えることができた。</p> <p>地域コミュニティ組織の取組については、既に設立された地域の協議会に対してその活動を支援し、また、新たに上堅田地域と八幡地域の2地域に地域コミュニティ協議会が設立された。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 R7年度と同事業を行う  <input type="checkbox"/> 2 新規事業を行う  <input type="checkbox"/> 3 改善を行う  <input type="checkbox"/> 4 その他</p> <p>※上記で1以外を選択した場合は、その内容を簡潔に記入</p>

【3-3 重点プロジェクト（R7年度実施）による評価】

評価	評価理由	平均評価
① A	<p>市内中心部は、さいき城山桜ホールに多くの人々が訪れ、にぎわいを創出できており、徐々にその効果を周辺に波及させていくことができている。地域コミュニティ組織の取組についても、順調に推移している。</p>	A

【4 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	課題と今後の施策展開について
A	<p>さいき城山桜ホールや、城下町エリアにある佐伯市観光交流館や城山等の観光資源を活用して人の流れを形成するため、佐伯創生推進総合対策事業を活用し、地域住民や地域団体による地域活性化に対する取組を支援していく。また、地域コミュニティ組織や地域活性化に積極的に取り組む団体等を支援し、元気なまちづくりを推進する。</p>